

2024年度 光塩女子学院中等科 【第3回】

社会入試問題

2024年2月4日（日）実施

《注意事項》

- ① 試験開始の合図があるまで、この問題用紙の中を見てはいけません。
- ② 解答用紙に、受験番号と氏名を書きなさい。
- ③ 解答は、解答用紙に書きなさい。
- ④ 問題は、7ページまであります。

次の文章を読んで、以下の問い合わせに答えなさい。

空からはらはらとふつてくる雪や、一面の雪景色は1冬ならではの風物詩です。
2平安時代に活やくした（　）は、庭にふり積もった雪でつくられた雪山の様子を『枕草子』に書き残しています。ながめているだけならば美しいのですが、3日本の豪雪地帯にくらす人々にとって、4雪は生活の自由をうばうやつかいものとしてあつかわれてきました。

しかし、雪あればこそ生まれる知恵や技術もあります。古代の日本では、冬の氷や雪を氷室とよばれる穴にためておき、夏に取り出して朝廷にささげたと『(5)』に書かれています。6平安時代の貴族は、けずった氷に植物由来の甘い汁をかけて食べ、夏の涼を楽しみました。江戸時代には7加賀藩が将軍家に雪氷を差し上げていたそうです。

日本の気候は8鎌倉時代から寒冷化が始まり、江戸時代にはかなり寒かったと考えられています。江戸時代後期に、9顕微鏡で雪を観察し、本を出版した10大名がいました。大阪で幕府の要職についた彼は、2日間で29種の11雪の結晶を記録します。その2年後に、冷害による天保のききんがきっかけで12大阪では反乱が起きました。

ちなみに、ぜいたく品だった氷が一般の人々に親しまれるのは、明治時代の初めに13函館から天然氷が運ばれ、横浜でかき氷が販売されてからです。

現在では、雪を商品やエネルギーとして活用しようという動きが14北海道、ニイガタ県、山形県などで広がっています。15利雪を合いことばに新たな産業が始まることが期待されます。

問1 下線部1について、冬を題材にしたもの一つ選び、記号で答えなさい。現代かなづかいに直したものもあります。

- あ 柿食えば 鐘が鳴るなり 法隆寺
い 天の原 ふりさけ見れば春日なる みかさの山に いでし月かも
う やせがえる 負けるな一茶 ここにあり
え 最上川 逆白波のたつまでに ふぶくゆうべとなりにけるかも

問2 下線部2について、(1)と(2)に答えなさい。

(1) 空らんに最もあてはまる人物名を漢字で答えなさい。

(2) (1)で答えた人物の説明として最もふさわしいものを一つ選び、記号で答えなさい。

あ 朝廷で天皇のきさきに仕えて働いた女性。

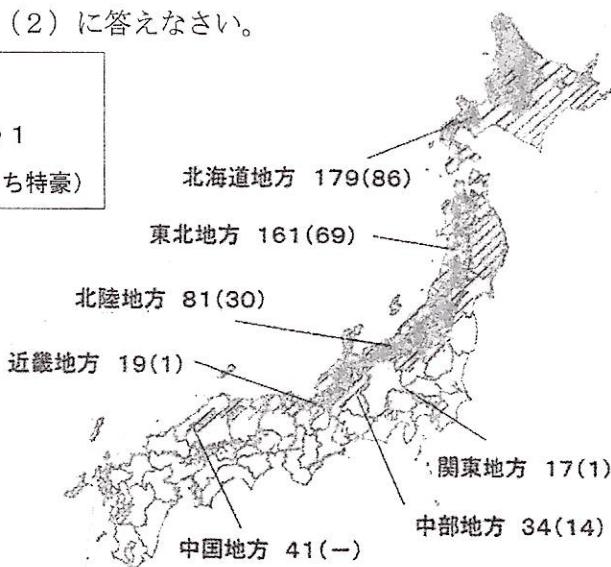
い 多くの文学作品を自ら書いた男性。

う 地方に兵士として派けんされた女性。

え 遣唐使としての役目を授かり海をわたった男性。

問3 下線部3について、以下は、国が定める「豪雪地帯・特別豪雪地帯」を示しています。(1)と(2)に答えなさい。

 豪雪地帯	532
 特別豪雪地帯	201
数字は市町村数（うち特豪）	



(国土交通省資料より作成)

(1) 「豪雪地帯・特別豪雪地帯」に関する以下の説明文を読み、①～④について適するものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。

豪雪地帯・特別豪雪地帯は、①(あ 日本海側 ・ い 太平洋側)に多い。これは、冬に ②(あ 南東 ・ い 北西)からふいてくる風が、③(あ 日本海流 ・ い 千島海流 ・ う 対馬海流)で温められて発生する水蒸気をふくんで、日本列島の中央にある ④(あ 河川 ・ い 山脈)にふきつけるためである。

(2) 日本の豪雪地帯・特別豪雪地帯に共通する課題について、最も正しく説明したもの一つ選び、記号で答えなさい。

- あ 人口が密集する首都圏を中心とし、交通機関の積雪対策が欠かせない。
- い 工業生産額が多い太平洋ベルトと重なり、四大公害問題をかかえている。
- う 人口減少が著しい地域と重なっており、労働力の確保が困難になっている。
- え 西日本一帯を中心とした地域であり、東日本との経済格差が開いている。

問4 下線部4について、(1)と(2)に答えなさい。

(1) 次の①～③は、雪が多い地域に共通して見られる「屋根」について述べています。これらの「屋根」の利点と欠点に最もあてはまるものを以下のあ～かよりそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。同じ記号は一度しか使えません。

- ① 温熱ヒーター付きの屋根
- ② 傾斜が急な屋根
- ③ 傾斜がゆるやかな屋根

- あ 雪を熱でとかすので、雪下ろしの肉体労働が減る。
- い 落下した雪がたまる場所を確保しなければならない。
- う 雪の重みにたえられず、建物がいたむおそれがある。
- え 雪が落下しやすいので、雪下ろしの肉体労働が減る。
- お 電気料金などの費用が高額になるおそれがある。
- か 雪が落下しにくいので、屋根の上で作業できる。

(2) 外国でも大雪が市民生活のさまたげになることがあります。ある国では、大雪のときに転んだけがをする人が多いことに着目し、公共機関が除雪する場所の順番を、以下のAからBに変えました。その結果、以前よりもけが人が減ったそうです。なぜ、AよりもBの順番で除雪した方が、けが人が減るのかを考えて、その理由を解答用紙の書き出しに従って述べなさい。

A： 主要な車道 ⇒ 利用者の多い大企業の周囲 ⇒ バス通り

B： 幼稚園の周囲 ⇒ 病院の周囲 ⇒ 歩道 ⇒ 主要な車道

問5 空らん5には、日本の古代のできごとを年代順にくわしく記した奈良時代の歴史書が入ります。次の中から最も適するものを一つ選び、記号で答えなさい。

- あ 万葉集 い 徒然草 う 解体新書 え 日本書紀

問6 下線部6の説明として、最も適するものを一つ選び、記号で答えなさい。

- あ 天皇から貴族院議員に任命された。
い 中国の皇帝から日本国王と名づけられた。
う 官職や位、荘園などから収入を得ていた。
え みな武装し、領地を増やすために戦った。

問7 下線部7について、(1)～(3)に答えなさい。

(1) 江戸時代、加賀藩は「加賀百万石」といわれました。この意味として最もあてはまるものを一つ選び、記号で答えなさい。

- あ 領地からとれる米の量が多く、有力な藩である、という意味。
い 貿易がさかんで、大量の物資が行き来している、という意味。
う 豊かな藩だが、江戸から遠く離れている、という意味。
え 金銀・宝石が特産で、多くの種類の金属がとれる、という意味。

(2) 加賀藩は、現在の石川県にありました。

① 解答用紙の地図で、石川県の場所をぬりつぶしなさい。

② 現在の石川県の県庁所在地を答えなさい。

(3) 石川県に関する説明として適さないものを一つ選び、記号で答えなさい。

- あ 北陸新幹線が開通し、城下町には多くの観光客が訪れる。
い 佐渡島は、県内で初めて世界文化遺産に登録された地である。
う 伝統的工芸品として、うるしを用いた輪島塗わじまぬりが有名である。
え 加賀絹に代表される絹織物を始め、せんい業がさかんである。

問8 下線部8について、以下のことがらを年代の早い順に並べかえなさい。

- あ 平清盛が病死してほどなく、源氏が平氏をほろぼした。
- い 天明のききんにより、江戸では商家の打ちこわしが起きた。
- う 室町幕府の勢力が弱まり、京都で応仁の乱が始まった。
- え 織田信長の妹は、雪深い北の庄（福井県）に嫁入りした。

問9 下線部9に関する以下の説明を読み、(1)～(3)に答えなさい。ただし、同じ番号には同じ語が入ります。

顕微鏡は、(①)で発明されたといわれている。日本には、②18世紀半ばに(①)から伝わった。当時の日本は、現在の(③)にある出島のみで(①)と交易していた。

(1) () ①に共通して入る国名を答えなさい。

(2) 波線部②を、解答用紙の指示に従っておよその西暦年で表しなさい。

(3) () ③に適する都道府県を答えなさい。

問10 下線部10に関する以下の説明のうち、正しいものを二つ選び、記号で答えなさい。

- あ 大名は、自分が治める藩と江戸とに1年交代でくらした。
- い 大名は、将軍と近しい順に、親藩・譜代・外様に分類された。
- う 大名は、自分が治める藩のみに流通する金貨を自由につくった。
- え 大名は、財源を増やすために諸外国と活発に貿易を行った。

問 11 下線部 11について、(1)～(3)に答えなさい。

- (1) 雪の結晶を「^{むづのはな}六花」とよぶことがあります。なぜそうよばれるのかを考えて述べなさい。
- (2) 気温が比かく的高いときに降る大つぶの雪を「^{わなほうじ}ばたん雪」とよぶことがあります。この「ばたん雪」が積もった様子を最も表すと考えられるものを一つ選び、記号で答えなさい。

あ みぞれ い 綿帽子 う 粉雪 え 初霜

- (3) 雪の結晶の形によって、雲の中の気象の状態がわかります。このことを指して、かつてある物理学者が、「雪は天から送られた（　）である」と表現しました。（　）に最もあてはまると考えられる漢字2字の語を答えなさい。

問 12 下線部 12について、この反乱の中心人物は、江戸幕府の役人を務めていました。最もあてはまる人物を一つ選び、記号で答えなさい。

あ 伊藤博文 い 田沼意次 う 大塩平八郎 え 石田三成

問 13 下線部 13について、(1)と(2)に答えなさい。

- (1) 明治時代の初めに、函館から横浜まで氷を運ぶために使われた主な交通手段として最も適するものを一つ選び、記号で答えなさい。

あ 鉄道 い 人力車 う 飛行機 え 船

- (2) 下線部 13に関連して、太平洋戦争後しばらくの間まで、日本では「氷屋さん」という職業がありました。しかし、高度経済成長期に「三種の神器」とよばれる家庭電化製品が現われると、しだいに「氷屋さん」は減っていきました。当時の「三種の神器」のうち、このことに最も関係するものを一つ答えなさい。